

For The Team

方針策定にあたり

昨年、私たちが経験した急激な業績悪化は、職場へ更なる閉塞感を漂わせ、私たち組合員のみならず家族へも将来不安を与える結果となりました。その様な中でも、私たちは「悲観からは何も生まれず、社会や経済の好転を待っていても何も進まない」と強く訴え続け、不況の波が過ぎ去るのを何もせず待つのではなく「実直な努力」と「強靱なチームワーク」で、いかなる困難も乗り越えようと方針に掲げました。そして、私たち組合員は、厳しい環境下にありながらも、会社方針を理解し日々の目標を達成し、着実な成果を出すことが出来ました。

しかし、私たちと会社の将来を強く思う反面、この一年間の痛みは大きく、組合活動を通じて大切な仲間や家族を幸せに出来たかと問えば、多くの課題が残りました。

では、この急激な業績悪化は私たちに何をもたらしたのでしょうか。言い換えれば、業績悪化を通じて、私たちは何を学び、何を求められているのでしょうか。

ヤナセ労働組合は、この業績悪化が私たちに仕事の内容や質を見

直す「働き方の変革」を迫っていると感じています。社会・経済と共に人々の考え方や働き方が大きく変わろうとしている今、私たちもその変化を誰よりも早く感じ対応し、活動の領域や優先順位を見直す必要があります。変化に対応するのではなく、変化を感じ一歩先に行動しなければいけません。

今までも私たちは多くの変化を経験し、それに打ち勝ってきました。都度、原点に戻り、「変えるべきもの」と「変えてはいけないもの」を整理し、活動方針や活動自体に反映させてきました。従前の働き方で収益並びに処遇向上を目指すのではなく、仕事の視点を改めて常に改善を繰り返しながら、方針完遂・目標達成する。加えて、働くことの原点である「目標を立て、成果を挙げ、達成感を得る。これを愚直に実直に繰り返す」ことが求められているのではないのでしょうか。

そのためには、私たちが「なぜ、何のために働くのか」という、原点から見つめなおすことも必要です。私たちは、「仕事を通じた自己成長」や「仕事への達成感」、「お客様や会社からの評価」や「職場・

～働きがいのある職場にしよう～

社会への貢献」、そして「会社業績・賃金」や「家族・仲間」など、それぞれの価値観から生まれる仕事への動機付けを持ち合わせています。いわゆる「働きがい」です。ヤナセ労働組合は活動を通じて、私たちが持つ様々な働きがいを高め、再構築することが必要と考えています。

加えて、成果や働きがいを高める上で、障害があるならば、いち早く取り除く役割が私たちにはあります。現場によっては、会社方針と現場の働き方にギャップが生まれています。職場と従業員の数だけ、問題課題が出てきます。その原因は何なのかを探求し、ギャップを埋め、解決する。そして、互いにぶつかり、悩み、認め合う。時代や市場の風に流されることなく、一人ひとりもたれ合うのではなく、良い競争心とこれまでに無い価値観を生むことが必要不可欠です。正に私たちの強みでもある「強靱なチームワーク」による相互協力が求められています。

引き続き、「私たちのため、チームのため」に今以上に行動でき成長できるよう、私たちの働き方や働きがいを見直せる環境や社内

制度を整備し、提供できる一年でありたいと考えます。また、私たちは社会と消費者からの信頼に大きく支えられていることを十分認識しなければなりません。過去からの習慣にながされ、規範を曖昧に理解する従業員の存在は軽視できません。自ら社会規範の遵守に率先垂範し、社内規程はもとより、社会人としての法令の遵法精神を成長させることが必要と考えます。また、組合員の生活に直結する情報や勉強の機会を創出し、仕事と生活をより充実させることに努め、積極的な社会貢献活動と併せて健全な社会の発展に寄与します。

「組織とは、夢を具現化する場所です」組合員の夢を一つ一つ叶えられる組織であり続けるために、私たちと会社の成長が不可欠です。私たちの仕事がより楽しく、生活がより豊かに、将来をより明るくするために、迫り来るあらゆる課題に挑戦しつづけるヤナセ労働組合でありたいと考えます。

2010年度 重点目標

収益と職場環境を充実させ、処遇向上に取り組みます。

今年度も引き続き、私たちの処遇向上の起因は会社の収益向上にあること、そして、収益向上の下支えは職場環境が充実していなければならないことを活動方針の最前列に位置付け、私たちの処遇向上を目指します。

会社収益面では、会社方針や目標を理解することから、営業手法の改善・開拓、新たな収益アイテムの創造まで、ヤナセ労働組合ならではの幅広い収益向上活動に取り組みます。

例えば、自動車ディーラーの営業手法は、業界「同一」といって良いほど基本的ですが、全ての自動車ディーラーの営業手法が「同質」なのかを問えば、否です。私たちの全国同質とも云える営業手法に、さらに地域や職群別の特色や強みを加えながら、計画達成を目指します。また、それらの成功事例を全国の仲間へ展開し、スケールメリットを活かした収益拡大を目指します。加えて、「収益の源は現場にあり」通り、お客様のニーズをいち早く知る現場から、新たな収益アイテムやサービスを引き続き発掘し、更なる収益向上に貢献します。

一方、職場環境が整っていないければ、効率の良い収益は上がりません。職場の中には、方針と現場の働き方にギャップが生じ、目標達成への障害があります。私たちには、その障害を取り除く必要があります。景気が良い時は、自ずと職場環境は良くなりますが、厳しい経済環境にある今は自然改善を求めるには時間が掛かり、その間の収益にも影響を及ぼします。処遇と収益向上のため、引き続き職場環境の充実と改善に取り組みます。

あらゆる労働環境の整備・改善に取り組みます。

昨年、私たちは自身と会社の将来をより確かにするために「休日削減、賃金・一時金カット」の会社施策に協力しました。しかし、会社施策による痛みは想像以上に大きいものでした。昨年一年間を振り返ると、マイナス面ばかりが浮き彫りになってしまうかも知れません。

しかし、私たちは金銭処遇のみを全てと捉えず、私たちが働く労働環境全てを処遇の対象とし、あらゆる処遇向上に取り組みました。従前の取り組みである安全衛生面における職場環境の改善、生計の一部となった各種インセンティブの協議、制度面では、新人セールスの保償期間の延長や一級整備士手当の増額、フォアマン職群の導入、年間休日110日など、様々な労働環境の整備・改善に取り組み、処遇向上を実現しました。

不透明な状況が続いている今年度も、金銭面だけが処遇向上と捉えず、職場環境から各種制度や金銭処遇に至るまで、私たちが働く上で関わり合う全ての労働条件・労働環境の整備・改善に取り組みます。

問題の発生を未然に防ごう。課題発見力と解決力を高めよう。

私たちは二年間の同取り組みを通じて、課題解決の第一歩は、その職場がスタート地点であること、またその課題に準じた解決の手法を学びました。結果、個人による解決は勿論のこと、職場の連帯感やチームワークによる解決も多く見られました。特に多くの課題を解決した昨年は、方針の重要性を再認識した一年でした。

引き続き、個別課題の解決力を向上させるために、組織が個人をバックアップすることに加えて、職場の皆さんのチームワークを活かした課題解決力の向上を促進させます。

一方、特定の地域の特性や慣習からなる課題や問題が、残念ながら、未だ職場に埋もれています。そのような職場には、職場環境の停滞のみならず、課題を課題として捉えられないという根本的な問題があります。前述した課題解決力は勿論、課題発見力の向上にも取り組みます。

加えて、個人や職場が最大限のパフォーマンスを発揮するためには、目標達成の障害である課題や問題を発見・解決することはもとより、まず「問題を発生させないこと」が根本的な解決につながります。職場に関与する機会の多い組合役員が、職場のことを誰よりも知ることで、問題発生は未然に防ぐことが出来ると考えます。そのためには職場のリーダーが、「職場の物知り」や「職場の世話役」となり、根本的な課題解決に取り組みます。

ワークライフバランス=有効的な時間を作ろう。

ヤナセ労働組合が求める「ワークライフバランス」は、豊かな生活と積極的な仕事を同軸上に捉えています。仕事(ワーク) 偏重ではなく、生活(ライフ)をもっと大事にしなければならない、というような「働きすぎはいけない」ということではありません。反面、生活に偏重し、「仕事をしない」ということでもありません。言い換えれば、「仕事と生活」の両方が最良の状態であること、最良の状態に出来る環境が備わっているかということです。そのためにも、この「最良の仕事と生活」を作り出す上で必要不可欠な「時間」と「その使いかた」に注視した活動が求められます。

例えば、生活へ掛ける時間を短縮し、仕事をやる時間を作れたとしても、今までと同じ「ワーク」(業務や働き方)を漫然と繰り返す、本当に効率的且つ有効的な仕事が出来ているのでしょうか。一方、労働時間を短縮し、私生活への時間が作れたとしても、充足な生計や趣味なくしてアフターファイブや休日にとどのような「ライフ」が予定されているのでしょうか。

今年度、私たちは「最良なワーク」のための働き方の変革や業務改善、働きがいの再構築や職場の相互協力、「最良なライフ」のための生計サポートや福利厚生、人生設計に役立つ啓発活動に取り組みます。

また、引き続き、社会規範の遵守に率先垂範することと、健全な社会の発展のために、ヤナセ労働組合ならではの社会貢献活動を行います。日本社会や自動車業界、社内や皆さんが属する地域など、組合員が活躍する場で、私たちの心の豊かさに繋がる社会貢献活動に取り組みます。



具体的な取り組み

仕事への取り組み

経営全般について

労使の結束を更に強めて、組合員と会社の発展に努めます。

- 会社方針や計画を把握することが、経営計画を達成する第一歩です。そのため、会社方針と経営計画の進捗状況を組合員の皆さんに迅速かつ正確にお伝えします。また、継続的な取り組みですが、経営状況を知る上で基本的な P/L や B/S、キャッシュフローの理解浸透に努めます。
- 企業の持続とディーラー経営を更に確固たるものにするために、着実な成果を積み重ね、経営計画の達成を目指します。そのために、自動車小売業の主軸となるバリューチェーンや作業効率の向上、更なる適正な経費削減や仕事の動線改善など、仕事を更に進化させることに取り組みます。
- 私たちが主体的に利益を追求するために、売掛金の抑制や現収率の向上、様々な経費の圧縮など、ただ単に“取り組む”ではなく、“なぜ取り組まなければならないのか”を理解し、計画達成を目指します。

あらゆる労働環境や条件について

労使協調を更に強固にし、あらゆる労働条件の改善に取り組みます。

- 賃金と年間一時金の向上に取り組みます。
- 各種制度に関する検証を継続し、改善に取り組みます。
- ワークライフバランスを啓蒙します。
- 研修会や OJT を通じて、職場で抱える問題・課題の発見力と解決力の向上に取り組みます。
- 組合役員が職場のリーダーとなり職場パトロールを行い、施設面や衛生面の改善と問題発生を未然に防ぎます。
- 職場の人間関係の改善に取り組みます。
- 開催義務拠点における安全衛生委員会の定期開催を推進すると共に、安全衛生委員会の更なる質の向上を目指します。
- 拡大安全衛生委員会の定期開催を目指します。
- コンプライアンスや私たちに関係する社会規程の更なる浸透に努めます。

職群別の活動について

◆セールス部門

世界 No.1、業界 No.1ディーラーのセールスマンになるべく、着実な成果の積み上げで、計画達成と収益向上を目指します。

- グループ各社の相乗効果を高めるため、専門部会や研修会を通じて、地域や車種ごとの販売成功事例の集約と共有、販売手法の質の向上に取り組み、販売収益の向上に取り組みます。
- 販売直接費やアフターサービス費の削減方法の成功事例の共有と提案に取り組み、一台からの利益追求を目指します。
- 車種・地域ごとにセールスマンの目標関連協議と販売員手当を中心とした販売諸制度の改善に向けた協議を始めます。
- 新人セールスマンや異動セールスマンのフォローを組合役員や組織を通じて行います。

◆サービス部門

世界 No.1 のプロフェッショナルなサービスマンになるべく、サービス部門全体で収益向上と技術力の向上を目指します。

- グループ全体の AD 職群導入を目指し継続協議に取り組みます。
- フォアマンが設置されていないサービス工場におけるフォアマン業務へのケアに取り組むと同時に、制度運用を検証します。
- 専門部会や研修会を通じて、支店間の成功事例を共有し作業効率、生産効率の維持、向上に取り組みつつ、経費削減を含めた収益向上を目指します。
- 継続的なメカニックをはじめとする部門スタッフの技術力の向上と自己啓発を目指します。
- 一級整備士資格取得のための環境整備を推進します。
- 販売部門と連携し、アフターサービス費の削減や現収率の向上などを通じた経費圧縮について、成功事例の情報共有と提案に取り組みます。

組合員への取り組み

福利厚生

- 組合員のニーズを確かめながら、本部・支部・分會管轄の福利厚生イベントを開催し、組合員並びにその家族のリフレッシュの機会提供に取り組みます。
- 福利厚生ニュースを発行し、本部管轄の福利厚生イベント、各地域で利用できる福利厚生施設の提供、ならびに利用率の向上を目指します。
- 組合員のニーズを探求しながら、効率的且つ有効的な宿泊施設やレジャー施設の契約に取り組みます。
- WAY 通信を発行し、組合員の生活に密着した情報を提供し、生活力の向上を目指します。
- 資産運用に関する教育機会を提供し、組合員の生活力の向上を目指します。また、ろうきんによる金融サービスや公的制度を「均質」に情報提供します。
- 各種セミナーや組合機関紙を通じて、人生設計に役立つ啓発活動に取り組みます。

個別課題の克服

- 組合員一人ひとりの個別課題を仕事・人間関係・プライベートなどのフィールドに応じて、組織的に解決をサポートします。

情報宣伝

- 「組合員のニーズ」と「分かりやすさ」をキーワードに、つどい NET や WAY 通信を発行し、迅速な情報提供と効率的な情報共有に取り組みます。
- 支部・分會の目線で発行する「支部・分會ニュース」の発行を通じて、情報宣伝活動を強化します。
- 組合ホームページをさらに見やすく、伝わりやすくし、活動方針や、福利厚生、社会貢献に関する情報を迅速且つ効率的に開示します。

組合組織への取り組み

支部・分會サポート

- 支部・分會の活性化と更なる発展を目指して、組織体制を強化充実します。
- 組織拡大・改編による支部・分會の活動が滞りなく行えるよう、組合活動スタンダードの定着を図ります。
- 全国にある支部・分會のスケールメリットを活かし、そこで集約した情報を支部・分會活動に活かせるようにバックアップします。
- 支部・分會が抱える課題を組織的にバックアップし、課題解決のサポートをします。

組合予算と資産管理・運用

- 金融面において均質なサービスを提供できる支部・分會体制を構築します。
- 活動の透明性を高める支部会計スタンダードの質を更に高めます。
- 予算の進捗管理と計画的な執行、並びにより高い精算処理を定着させます。
- 組合資産の管理・運用は金融商品を十分に研究し、市況や経済情勢を鑑みながらリスクヘッジを含めた高効率運用を目指します。

社会への取り組み

社会貢献活動

- リングブル収集を通じて、車椅子を寄贈しニーズある社会へ貢献します。
- エコキャップ並びに外貨コイン収集を通じて、発展途上国へのワクチン支援を行います。
- 普通救命資格取得を通じて、社会への緊急対応能力を育成します。

- 本部・支部・分會それぞれのフィールドにおいて、環境や教育を通じた地域社会への支援を行ないます。

社会規範

- コンプライアンスに基づき、規定や社会規範などを貫き、関係法規の理解と浸透、実践に取り組みます。